

現代文B

平成31年度

東濃実業高等学校

対象クラス	第3学年	単位数	3
使用教科書	『高等学校 改訂版 標準現代文B』第一学習社		
使用副教材	『常用国語便覧 改訂版』浜島書店 『必携国語総合セミナー』浜島書店		

「現代文B」とはこんな科目です。

明治以降の「随想」や「小説」、「評論」、「詩」などを学び、「話す・聞く」、「書く」、「読む」という言語活動を通して、国語の表現力や理解力、伝え合う力(コミュニケーション能力)を高めることを目的とし、将来、社会に出て生きるために必要となる言葉の力の養成を目指します。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を身に付けよう。
- ・「伝え合う力(コミュニケーション能力)」を身に付けよう。
- ・言語を通して考える力(思考力)を伸ばそう。
- ・言語感覚を磨き、場面に即したより適切な表現ができるようにしよう。
- ・自分の考えをまとめながら、作文を書く力を身に付けよう。
- ・漢字検定2級レベルの漢字力を身に付けよう。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・授業の取り組みの様子 ・課題プリントの提出状況と内容
話す・聞く能力	・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	・授業の取り組みの様子
書く能力	・必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・定期考査 ・感想文や提出物への取り組み
読む能力	・近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・定期考査 ・授業の取り組みの様子
知識・理解	・言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査 ・漢字等の小テスト

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期 中間	世界を見つめる	ワスレナグサ 食と想像力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の流れをつかみ、筆者の関心や問題意識を理解する。</li> <li>・食という身近なものを新たな視点から見つめなおし、自己に引きつけて考える。</li> <li>・小説の主題について迫り、「自分と他人」「他者とのかかわり方」などについて考える。また、人間の運命と生きることの意味について考える。</li> </ul>
	小説を読む(一)	ひよこの眼	
<b>【前期中間考査】</b>			
前期 期末	新しい視点	記憶のゆがみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章を読解するとともに、記憶をゆがめるメカニズムを理解し、内省のきっかけとする。</li> <li>・近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の仕方・技法を学ぶ。</li> <li>・想像力を豊かにするとともに、言葉に対する感性を磨く。</li> </ul>
	詩を味わう	食事 他2編	
<b>【前期期末考査】</b>			
後期 中間	生への思索	鏡としての他者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章の構成や展開を正確に読み取る方法を学ぶ。</li> <li>・作品の背景について知るとともに、少年の一人語りという形式の効果について理解する。</li> <li>・作品と鑑賞文の対応関係を理解し鑑賞の仕方を習得する。</li> </ul>
	小説を読む(二)	バグダッドの靴磨き	
	短歌と俳句	折々のうた	
<b>【後期中間考査】</b>			
後期 期末	現代と文化	新しい博物学を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得しながら、科学の現状と筆者の問題意識について理解する。</li> <li>・詩人として名を成すことに憑りつかれた主人公の、虎の体に人間の心を持って生きなければならない苦悩と悲哀を理解する。</li> <li>・自分の生い立ちを振り返るとともに、将来を展望してみる。</li> </ul>
	小説を読む(三)	山月記	
	言語活動	「自分史」	
<b>【学年末考査】</b>			